

あいち病害虫情報 最新情報

平成27年10月16日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

今後の気温は高い見込み

名古屋地方気象台10月15日発表の1か月予報によると、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並の予想です。

イチゴでハダニ類の防除を徹底しましょう！

9月下旬の調査では、ハダニ類の発生が多い状況でした。多発した後では防除が難しくなります。気門封鎖型薬剤を積極的に活用し、同一系統薬剤の連用を避けて防除しましょう。防除対策については、10月2日発表の「平成27年度病害虫発生予察注意報第4号」を参照してください。

キャベツ黒腐病など細菌性の病害に注意！

キャベツ及びハクサイの軟腐病などの細菌が原因となる病害は、風雨により発生が助長されます。10月上旬の強風雨の影響でキャベツでは黒腐病の発生が多いほ場があります。抗生物質剤や銅水和剤などで防除しましょう。なお、銅水和剤を用いる場合は、炭酸カルシウム剤（クレフノンなど）を加用して、薬害の発生を防ぎましょう。キャベツ黒腐病の防除対策については、10月2日発表の「平成27年度病害虫発生予察注意報第3号」を参照してください。

キャベツでコナガの発生量増加傾向！

10月上旬の調査では、キャベツでコナガの発生量が増加傾向です。フェロモントラップにおけるコナガの誘殺数も、豊橋市で多い状況です。コナガは薬剤抵抗性が発達しやすいので、同一系統薬剤の連用を避けて防除しましょう。防除対策等については、9月15日発表の「平成27年度病害虫発生予察注意報第2号」を参照してください。

ハクサイではアブラムシ類の発生に注意！

10月上旬の調査では、アブラムシ類の発生量がやや多い状況です。発生が見られるほ場では、結球前に防除を徹底しましょう。

オオタバコガの発生に引き続き注意！

フェロモントラップにおけるオオタバコガの誘殺数は、キャベツ、キクのほ場ではおおむね平年並です。しかし、気象予報によれば、今後気温は高い見込みで、チョウ目害虫の発生に好適な条件が続きますので、ほ場での発生状況に注意し、適宜防除しましょう。

イネ縞葉枯病が西三河地域のコシヒカリのヒコバエで多発！

本日発表の「イネ縞葉枯病情報」を参照してください。

ダイズの害虫

ミナミアオカメムシの発生量は、ほ場間での差が大きい状況です。オオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数は、やや少ない状況です。気象予報によれば、今後、気温は高い見込みで、害虫の発生に好適な条件が続きます。吸実性カメムシ類やチョウ目害虫の発生が多いほ場では、収穫前日数に注意して防除しましょう。

問合せ先 愛知県農業総合試験場 環境基盤研究部 病虫害防除室
TEL 0561-62-0085 内線471 FAX 0561-63-7820